

<2022-2023シーズン> 主なルールの変更・解釈について

27.8 ゴールテンダーの制限エリア【採用】

■ 27.8 ゴールテンダーの制限エリア

ゴールテンダーは、ネット裏の指定されたエリア以外でパックをプレーしてはならない。

このエリアは、両方のゴールポストからそれぞれ1.85 M（6フィート）の両地点から始まり、エンドボード上で8.64 M（28フィート）の間隔がある両地点までを斜めに伸びるラインで定められる。

ゴールテンダーがゴールライン後方の指定された場所以外でパックをプレーした場合は、「ディレイ・オブ・ゲーム」によるマイナー・ペナルティが科される。

パックの位置を決め手とする。

ゴールテンダーがゴールクリーズにスケート靴を接触させたままパックをプレーした場合、マイナー・ペナルティは科されない。

【解説】制限エリアにいるゴールキーパーに対し、アタッキングプレーヤーがシュートした場合、ペナルティになるかどうかは、ゴールキーパーがパックをプレーする意図があるかによります。例えば、ゴールキーパーがパックをブロックする体勢をとり、ブロックした場合には、パックがゴールキーパーのスティックに触れたかどうかにかかわらずペナルティとなります。

55.3 フッキング【変更】

■ フッキングのメジャー・ペナルティ単体が無くなり、メジャー・ペナルティには自動的にゲーム・ミスコンダクトペナルティが科される。

48 イリーガルチェック・トゥ・ザ・ヘッド・オア・ネック

■ 偶発的な頭部または頸部のみへのヒット、受け手側が体制を変えたことにより発生した頭部または頸部へのヒットは 2 分間のマイナー・ペナルティと判断されます。

【解説】上記の場合により怪我が発生した場合に自動的にマッチ・ペナルティにはなりません。

60 ハイスティッキング

■ 60.1 プレーヤーは自分のスティックをコントロールし、責任を持たねばならない。ただし、その行為が「シュートの動き」の通常の「ワインドアップまたはフォロースルー」として行われる場合や、「フェイスオフ」の最中に体を曲げている相手側センターに「誤って接触」した場合は、プレーヤーは相手へ「誤って接触」と認められる。

【解説】上記の場合により怪我が発生した場合にはダブル・マイナー・ペナルティが科されていましたが怪我の有無に関わらずペナルティは科されません。

■ 60.3 ダブル・マイナー・ペナルティ

プレーヤーがスティックの一部を肩より上に持つか掴むかして、相手の頸部、顔面または頭部に接触させたために出血するなどの「負傷の結果」が生じた場合、レフェリーはダブル・マイナー・ペナルティを科す。

【解説】従来の解釈では、「シュートの動き」の通常の「ワインドアップまたはフォロースルー」として行われる場合、いわゆる「偶発的な接触により怪我をした場合」に本条項を適用してきましたが、60.1 でペナルティを科されない場合、60.4 のマッチ・ペナルティが科される場合を除きハイスティッキングにより怪我をした場合にはダブル・マイナー・ペナルティが科されます。

■ 60.4 マッチ・ペナルティ

レフェリーは自らの裁量により、プレーヤーが「ハイスティック」によって無謀にも相手を危険にさらした場合、マッチ・ペナルティを科してもよい。このような無謀な危険行為の判定は、反則の重さ、接触の重さ、暴力の程度、関係する一般的な非難に値することに基づくものとする。

→マイナー・ペナルティ (2:00)

→ダブル・マイナー・ペナルティ (2:00 + 2:00) 出血した場合など

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【解説】いままでの 5+GM は 2+2 と解釈

74.2 トゥー・メニー・プレーヤー・オン・ジ・アイス

【解説】この反則を科されたチームのコーチは、ペナルティを遂行するプレーヤーを指名することができます。そのペナルティが発生したときに氷上にいるプレーヤーである必要はありません。

75.2 アンスポーツマンライク・コンダクト

【解説】プレーヤーがグローブとヘルメットを外したがファイティングにならなかった場合は、それらはファイティングに備えた一連のアクションとみなし、1つのマイナー・ペナルティを科されると解釈します。

85 パックのアウト・オブ・バウンズ

■ 85.1 パックがプレー・エリアの外に出る原因となったショットまたはデフレクションが、ニュートラル・ゾーンまたはディフェンディング・ゾーンからのものとオンアイス・オフィシャルが判断した場合には、その後の「フェイスオフ」位置は、ショットまたはデフレクションが起きた場所に最も近く、違反したチームに最も「テリトリアル・アドバンテージ」を与えないフェイスオフ・スポットとする。

【解説】ニュートラル・ゾーンからのショットがゴールポストにヒットし、アウト・オブ・バウンズになった場合、ニュートラル・ゾーンの最も近いフェイスオフ・スポットでフェイスオフを行います。

■ 85.5 フェイスオフの位置

アタッキング・チームがゾーン内でパックをシュートし、「ディレイド・オフサイド」が示された場合、またはアタッキング・チームが「ハイスティック」でパックに接触するか「グローブでパックを叩く」など試合の流れ上で（プレーの中断を引き起こす）反則を犯した場合、続く「フェイスオフ」は、違反したチームのアタッキング・ゾーンの外側のニュートラル・ゾーンで行う。

63.7 - ゴールの授与

パックがゴールポストの正常な位置の間にあるゴールラインを通過する前に、ディフェンディング・プレーヤーがゴールポストを「故意に」または「偶発的に」動かした場合、レフェリーはゴールを与えてもよい。この状況でゴールを与えるには、ディフェンディング・プレーヤーの行為によりゴールポストが動き、ゴールポストが動く前にアタッキング・プレーヤーに「差し迫った得点機」があり、パックがゴールポストの正常な位置の間のゴールに入ったであろうと判断されなければならない。

【解説】「差し迫った得点機」とはシュートの前、またはシュートが行われ、プレーヤーがパックに接触した後にゴールポストが動かされるようなケースのことです。例として、プレーヤーがパックをパスせず、ネットがあったはずの位置にパックをシュートした場合、ゴールと判定されるべき状況です。しかしながら、このシーン後にプレーヤーがパックをパスすると、ネットはすでに移動しており、そのチームは「差し迫った得点機」を失っている状況と解釈されます。

78.4 - ゴールが認められる場合 ※フレキシブル・ペグの場合のみ・・・**ダイドー・東大和は対象外**

攻撃側のプレーヤーのスティックにより、パックが両ゴールポストの間にクロスバーの下を前から入り、ゴールフレームが適切な位置にある状態で、片方のゴールポストからもう片方のゴールポストまで氷上に引かれたゴールポストの幅の赤い線を完全に横切った時に、ゴールを得点とする。ゴールフレームは、少なくともフレキシブル・ペグの一部が両方ゴールの中にあれば、適切な位置にあるとみなされる。フレキシブル・ペグが曲がっていても、フレキシブル・ペグの少なくとも一部が氷の穴とゴールポストに入っていれば、ゴールフレームは適切な位置にあるとみなされる。

【解説】フレキシブル・ペグの場合のみ。

78.5 (x) - ゴールが認められない場合 ※フレキシブル・ペグの場合のみ・・・**ダイドー・東大和は対象外**

偶発的にネットが外れた場合。パックがゴールに入る前またはゴールに入った時に、ゴール・ペグの一方または両方が氷上のそれぞれの穴に入っていない場合、またはネットがペグの一方または両方から完全に外れている場合、ゴールフレームが動いたとみなす。

87.1 タイムアウト

この「タイムアウト」は、通常のプレー中断中に取らなければならない。1回のプレー中断時に認められる「タイムアウト」（「テレビコマースヤル休憩」またはチームの「タイムアウト」）は、1回のみとする。

コーチに指名されたプレーヤーは、（パックのドロップ前に）自チームがそのオプションを行使していることをレフェリーに示し、レフェリーは「タイムアウト」をゲーム・タイムキーパーに報告し、ゲーム・タイムキーパーが「タイムアウト」の終了のシグナルを出す責任を持つ。

【解説】片方のチームがタイムアウトを取り、タイムアウトが終了する前にもう一方のチームが続けてタイムアウトを取ることはできません。また、通常のプレー中断時にレフェリーがラインチェンジの合図を終え、フェイスオフするよう指すまでは、ホームチーム、ビジターチーム関係なくタイムアウトを要求することができます。

ペナルティの選択

【ホールディング（HOLD）】

→マイナー・ペナルティ（2:00）

→ペナルティショット（PS）

→ゴールの授与（GOAL）

【ハイスティックング（HI-ST）】

→マイナー・ペナルティ（2:00）

→ダブル・マイナー・ペナルティ（2:00 + 2:00）出血した場合など

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【解釈】いままでの 5+GM は 2+2 と解釈

【インターフェアランス (INTRF)】 【トリッピング (TRIP)】

→マイナー・ペナルティ (2:00)

→メジャー・ペナルティ (5:00)

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→ペナルティショット (PS)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

→ゴールの授与 (GOAL)

【フッキング (HOOK)】

→マイナー・ペナルティ (2:00)

~~→メジャー・ペナルティ (5:00) …なくなりました~~

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→ペナルティショット (PS)

→ゴールの授与 (GOAL)

【ボーディング (BOARD)】 【チャージング (CHARG)】 【エルボーイング (ELBOW)】

→マイナー・ペナルティ (2:00)

→メジャー・ペナルティ (5:00)

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【チェックングフロムビハインド (CHE-B)】

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【クリッピング (CLIPP)】 【ニーイング (KNEE)】 【クロスチェックング (CROSS)】

【スラッシング (SLASH)】 【イリーガルヒット (ILL-H)】…女子のみ

→マイナー・ペナルティ (2:00)

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【ヘッドバッティング (H-BUT)】【バットエンディング (BUT-E)】【スピアリング (SPEAR)】

→ダブル・マイナー・ペナルティ (2:00 + 2:00) 試みた場合

→メジャー・ペナルティ + ゲームミスコンダクト・ペナルティ (5:00 + 20:00)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【イリーガルチェックトウザヘッドオアネック (CHE-H)】【ラフイング (ROUGH)】

→マイナー・ペナルティ (2:00)

→マッチ・ペナルティ (25:00)

【解説】ラフイング (ROUGH) ……GK のブロッカーによるものは MP

【キッキング (KICK)】【スルーフットイング (SLEW)】

→マッチ・ペナルティ (25:00)